

シドニー日本クラブ
第 465 号

JCS
だより

11 月号
2024



今月10日はシドニー日本クラブの忘年会！

渡部会長がカウラ桜祭りと慰霊祭に参列
JCS日本語学校の子どもたちがスピーチフェスティバルに参加
キネマ倶楽部●今月紹介の映画は「TOUCH」
科学の小箱(最終回)●「ノーベル賞2024」

理事会から

●2024年10月定例理事会 10月2日7:00-9:00pm (zoomのオンライン会議)

参加者: 神田領事、チョーカー、渡部、コステロ、リヒター、斉藤、多田、ホジュキンソン、林、マーン、関口、松隈 (欠席者: 水越、阿部、小柳)

●会員世帯数: 346世帯 (一般68世帯・学校278世帯)

●次回理事会: 11月6日(水) 7:00pmよりドガティセンターにて

◆総領事館からの連絡

○神田領事より着任のご挨拶と総領事館からのお知らせがあった。(本誌5ページ参照)

◆日本の祭りの総括

○当日は特に大きなけが人などなくてよかった。

○広報宣伝: 事前に日系のお店などにポスターを貼ってみてはどうか。近年はソーシャルメディアが効果的。

○当日の流れは特に問題はなかった。1人迷子がいたが、解決できた。迷子の案内はマニュアルの作成が必要。

○出店: 飲食は長蛇の列であきらめた人が多くいた。

○VIP: オープニングが終わった後、写真を撮り、その後、生け花ブースでのデモンストレーション、お茶のブースでのお手前に参加し、和やかにもてなすことができた。

○ステージ: これまで音響機材を好意で借りていたが、今年はJCS所有のものを使用。そのため音量が小さく音が割れて聞こえにくかった。購入するなど何らかの対応が必要。ステージの設置は予算上現実的ではない。

○ボランティア: ①人数をかなり多くし、②拘束時間を変更し、③説明会用スライドに写真入りで会場設営を入れ、担当グループ別に事前に割り振ったので、昨年より効率的にできた。なお、撮影担当には、当日朝に対面で簡単に説明したり、メールで詳しく説明した方がよかった。

○ワークショップ: スケジュールがわかりにくかったので、大きいポスターで見やすくするといい。かなり混雑したので、テーブルなど外に出さないようお願いした。

○本部: 担当理事が自分の出演時に本部に不在になった。他の理事の配置が必要。

○金魚・ヨーヨー: ボランティアが多めで、経験者も配置されていたのはよかった。初めての人もよく動いてくれた。休憩に入ると半分となり、バタバタした時間もあった。

○着物: 割れない鏡を準備したが、役に立たなかった。

○全体総括: 祭りに参加した理事は9名。当日の仕事に加え、準備、事後処理にかかる仕事量、負担がかなり大きいので、対策を検討したほうがいいと思う。イベントチームなど理事以外のグループがいてもいいのではないかと。短時間でもいいので、カバーしてもらえる人材要。

◆カウラ桜祭り & 戦没者墓地での追悼式典に参加

○日本人会催行の9月28日・29日の一泊二日でバスツアーに渡部会長が参加した。

◆忘年会: 案内を「JCSだより」10月号で告知

日時: 2024年11月10日(日) 受付11時30分開宴12時

場所: Gold Class Daruma (The Grace Sydney, Level 1, 77 York Street, Sydney)

会費: 会員大人65ドル、子供35ドル / 非会員大人75ドル、子供40ドル ※7年生(中学1年生)以上は大人料金。

飲み物は乾杯用の一杯を用意。それ以上は各人の注文。持ち込みの場合は、別途、1本につき25ドルチャージ。

参加人数: 先着55人

司会: 斉藤理事または阿部理事

ラッフル: ホジュキンソン、チョーカー、コステロ、(林)

チケット200枚(1枚5ドル)。500ドルで賞品を購入する。

トリビア: 松隈 受付: マーン

◆学校からの報告

●シティ校: 18クラス、生徒数210名、143世帯

9月7日に運動会を開催。1番上のクラスは進行のお手伝い。上から2番目3番目のクラスは、幼児部一年目のクラスの子供達とパディシステムを組み、卒業生がお手伝いに駆けつけてくれ今年もとても盛り上がった素晴らしい運動会を行うことができた。4学期は、「JAL整備士による航空教室」「JAL折り紙ヒコーキ教室」(小学部対象)、幼児部、くおっか組スピーチ発表会、新入生向けのオープンデーなど多くのイベントが企画されている。引き続き子供達が多く通える学校づくりを教員・委員をはじめ保護者の協力を得て行っていく。

●ダundas校: 11クラス、生徒数135名、91世帯

9月21日、3学期最終日に盛大に行われた運動会は大成功で終了。競技も増えて非常に好評で終えられた。

9月中に行われた新入生募集も順調に申し込みがあり、幼児部の定員を超える希望者がいる模様。10月19日に予定しているオープンデーの準備を進めているが、Eppingの選挙が行われるため投票所になるとの情報が入り、大慌てで調整を始める羽目に。

4学期は校内発表会に向けて総仕上げとして忙しくなる時期。来年度クラス編成や教材の調達等、山ほどの業務があるが、子どもたちが続けたいと思える学校を提供するため役員一丸となって頑張っていきたい。

●エッジクリフ校: 5クラス、生徒数60名、44世帯

3学期最終日の9月21日は、エッジクリフ校単独で初の運動会を行った。これまでシティ校との合同運動会だったが、単独開催ができた。ただし、校庭が狭いので、工夫をしながら競技を選んで実施した。当日まで、毎週、競技の練習や校歌の練習を続けた甲斐があり、運動会当日はスケジュール通りに進行することができた。子供達はもちろん保護者の方々も多いに喜び、楽しんでくれた。

3学期は、他の二校は9月の土曜日3週までだったが、エッジクリフ校は4学期を8週に、3学期を10週にしているので、9月28日が3学期の終業日となった。

先生の交代などもあるが、4学期はエッジクリフ校の開校10年目に入ることになり、一層気を引き締めて学校運営に力を入れていきます。



シドニー日本クラブの忘年会

今年は5年ぶりにシドニー日本クラブ(JCS)の「忘年会」を開催します。今年1年を振り返りながら、皆さんで楽しく思い出に残るパーティーにしたいと思います。なお、忘年会はディナーではなくランチです。お間違えのないように。ぜひ、会員の方に限らず、お友達にも声をかけられて、多くの皆さんで楽しい忘年会にしましょう！

日時:11月10日(日) 受付11時30分 開宴12時(～2時30分まで)

場所:Gold Class Daruma(The Grace Sydney, Level 1, 77 York Street, Sydney)

会費:会員 大人65ドル、子供35ドル/非会員 大人75ドル、子供40ドル ※7年生(中学1年生)以上は大人料金。

※飲み物は乾杯用の一杯を会から用意しますが、それ以上は各人の注文となります。個別にお支払いください。

なお、ワインをお持ち込みの場合は、別途、1本につき25ドルチャージされます。

服装:スマートカジュアル

内容:JCSの活動スライド上映、ラッフル抽選会、テーブル対抗トリビアクイズなど。

※締切は過ぎましたが、参加ご希望の方は至急、JCS事務局まで、お名前と人数をお知らせください。

電話:0421-776-052(9時～18時) Email:jcs@japanclubofsydney.orgまで。



多数のラッフル賞品を用意しています！ ご期待ください。



いますぐサイトをチェック

www.matsurisydney.com

祭りの会場は Wentworth Park Sporting Complex (Ultimo) です。市内からライトレールで10分。今年の祭りは屋内イベントです。入場料は大人10ドルですが、着物など和装の方は無料で入場可！

ご家族や友人と祭りにお出かけください！

日本の祭り開催
毎年ダーリングハーバーで開催されていた日本の祭りが、新会場です。5年振りに開催されます！

カウラ桜祭り慰霊祭に参列

9月28日(土)、29日(日)の2日間に渡るシドニー日本人会主催のカウラバスツアーにJCSを代表して参加して参りました。

初日は早朝シティを出発し、午後早くにカウラ庭園に到着。庭園内で行われていた桜祭りの催し物を楽しんだ後、夕刻には同庭園にて行われたカウラ市主催レセプションに参加し、カウラや日本の代表者の皆さんとの交流をはかることができました。

翌日曜日には、捕虜収容所跡地を見学した後、カウラ戦没者墓地にて行われた式典に参加致しました。カウラブレイクアウト協会会長のGordon Rolls氏、Ryndell夫人と一緒に豪州兵墓地、日本人墓地にてJCSを代表して花輪を捧げさせて頂きました。(写真右上・下)日本人墓地では、カウラ事件から80年という節目の年にあたり、心を込めて読経も行っていました。

両日共に好天に恵まれたカウラ日和となり、心穏やかに80年前に起こった惨劇を振り返り、生死の境を彷徨ったすべての人々に想いを馳せた心に残るバスツアーとなりました。まだカウラを訪れたことのない方は是非一度訪れて、日豪の歴史の一端に触れる経験をして頂ければと思います。(渡部)



(左から)石川日本人会会長、菅原日本商工会議所会頭、渡部JCS会長

当日は、JCSの多田監事(中央)と斉藤理事(右)も参加されました



日本人会のカウラバスツアーに参加された方々と共に、捕虜収容所跡地をバックに記念撮影

総領事館からのお知らせ

※在シドニー日本総領事館からのメールマガジンの抜粋です。総領事館からメールマガジンが発信されていますので、こまめに最新情報を得るようにしてください。

1 領事情報

(1) 2025年3月以降の旅券発給体制の変更のお知らせ

2025年3月24日から、旅券の偽変造対策を強化するため、人定事項ページにプラスチック基材を用いた「2025年旅券」の発給開始を予定しています。

3月24日以降は、旅券が日本国内で作成され、当館まで配送されることとなるため、最短でも2週間以上の日数を要します。この機会に、改めて、現在お持ちの旅券の有効期限が十分かご確認いただき、必要に応じて早めの旅券の切替申請をご検討下さい(旅券の残存有効期間が1年未満の場合に切替申請が可能です。)

詳細は以下のリンク先からご確認ください。

<https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/document/japanese/consul/2025-new-passport.pdf>

(2) 旅券、各種証明及び査証のオンライン申請と決済

旅券、各種証明及び査証(観光一次のみ)の申請はオンライン申請が利用できます(査証以外は事前にオンライン在留届(ORRネット)への登録が必要です。)

オンライン申請をされた方に限り、手数料をクレジットカード及びデビットカードでお支払いいただくことが可能です。詳細は以下のリンク先からご確認ください。

(旅券)

https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/itpr_ja/consul_online_passport_info.html

(各種証明)

https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/itpr_ja/consul_online_shomei.html

(査証)

https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/itpr_en/evisa_online_application.html

(3) 「DV被害者支援のための相談窓口」のお知らせ

当館は、当地でDV被害者等を支援する団体「Bonnie Support Service Ltd」と提携し、ドメスティック・バイオレンス(DV)で悩んでいる邦人のための相談窓口を開設しています。対象は、NSW州にお住まいの邦人女性(及び子供)で、相談者は、日本語によるサービスを受けることができます。DV被害でお悩みの方は、まずは下記相談窓口までご相談ください(NSW州以外の地域にお住まいの方については、情報提供やお近くの相談機関のご紹介を行います。) 詳細は以下のリンク先からご確認ください。

<https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/document/japanese/consul/20230828dv.pdf>

2 治安・安全情報

今月号では、○×クイズ方式により、スリや置引きの被害に遭わないためのポイントを説明します。

(問1) 多くの人が集まる場所を歩く際のみ、周囲の人物に注意を払った。

(問2) 貴重品をバッグに入れ、きちんとジッパーを閉じた。

(問3) 多額の現金を持ち歩く必要があったので、特に周囲に注意を払って移動した。

(問4) ウエストポーチを持ち歩く際、ポーチの位置が体の前面にくるよう着用した。

(問5) 目つきの鋭い3人組を見かけたので、距離を取って歩くようにした。

(問6) ビーチに行く際、貴重品をホテルの金庫に保管した。

(問7) カフェでトイレに行く際、友人に荷物番を頼んだ。

(問8) カフェで飲食中、スマホを目の届くテーブルに置いた。それでは解答です。

(問1) × 主に人混みが多い場所でスリは頻発しますが、犯人の中には人が少ない場所でも犯行に及ぶ場合もあり、慣れた環境やよく知った道であるからと警戒を緩めないようにしてください。

(問2) × リュックサックは外部から容易に触れられる上、背中に背負うため目が届きにくいいため、このようなバッグに貴重品を保管しないようにしましょう。

(問3) ○ 基本的に多額の現金や貴重品は持ち歩かないようにすることがベターですが、どうしても携行しなければならない場合は、周囲に十分注意を払うとともに、徒歩以外の方法で移動するようにしてください。

(問4) ○ 目の届きやすい場所に荷物を位置させながら携帯しましょう。

(問5) ○ 1人が被害者に話しかけるなどしてその注意を逸らせながら、もう一方が犯行に及ぶ手口も多いので、周囲を頻りに窺うような挙動不審者をはじめ、集団で行動する者には十分注意を払ってください。

(問6) ○ 特にビーチなど、荷物から目を離しやすいような場所に行く場合は、事前に荷物を預けておきましょう。

(問7) × 友人がどの程度の警戒心を持って管理してくれるかはわからないため、荷物は自分の責任のもと、自分の目が届く範囲で、肌身離さず所持する方が無難です。

(問8) × 犯人は一瞬の間を突いて所持品を持ち去ります。スマホなどは目の前に置かず、他人から見えないところに置くように心がけましょう。

スリや置引きには、現地の方でもわずかな油断から被害に遭う場合も多いので、常日頃から以上のポイントをしっかり押さえて、被害に遭わないよう心がけましょう。

親睦の会 だより

会員
募集

シドニー日本クラブ会員の親睦と交流の集いです。和やかな雰囲気の中、和食弁当を食べながらの情報交換後には、様々な趣向を凝らした内容で楽しんでいます。遠足や野外活動も行っています。

JCSシドニー日本クラブの会員でしたら入会金は不要。年齢・性別・国籍は問いません。ビジターも大歓迎です。新しい輪を広げましょう。お気軽にご参加ください。

親睦の会役員

会長：林さゆり、副会長：ピアス康子、会計：加藤真理、事務局長：ピアス康子
ボランティア：朝比奈富美子、カーター洋子、斉藤なお子、竹内美佐子、橋本克子、ヨハンソン治子（五十音順）

■11月例会のご案内

【年忘れランチ】

早いもので、今年も年の瀬が近づいてきました。1年の労をねぎらいながら、年忘れランチを楽しみたいと思います。ラッフル抽選会やテーブル対抗トリビアクイズなどで盛り上がり、思い出に残るひと時を過ごしましょう。

日時：2024年11月10日(日)

受付11時30分、開宴12時(～2時30分まで)

会場：ゴールドクラスだるま(Gold Class Daruma)

住所：The Grace Hotel, Level 1, 77 York Street, Sydney

会費：JCS会員大人65ドル、非会員大人75ドル

尚、ワインをお持込みの場合は、1本につき別途25ドルチャージされます。

会費振込先：会費は前もってお振込み下さい。

口座名：Japan Club of Sydney Inc.

口座番号：BSB No: 032-002 Account No: 51-3156

申込み方法：JCS事務局まで

電話：0421-776-052(9時～18時)

Email: jcs@japanclubofsydney.org

振り込んだ旨もお知らせ下さい。

申込締切：10月31日



5種類の水(コールズのボトル水・エビアン・ソーダ水・サンペレグリーノ・水道水)を、それぞれ口にしてから、ワインを飲むと、不思議なことにワインの味が変わります。初めての経験に驚きを隠せませんでした。



毎回楽しい企画・進行をして下さっているJCS親睦の会の役員の皆さん。左から竹内美佐子Aグループ担当、ピアス康子事務局長、林さゆり会長、朝比奈富美子B・Cグループ担当、橋本克子ボランティア、加藤真理会計担当。



10月12日開催の例会では、「ワインと水のペアリング」をテーマにしたワークショップを行いました。登壇いただいた上田ソムリエから、楽しい楽しい挑戦を仕掛けられました！

JCSのクラブライフ



シドニーソーラン踊り隊

毎週土曜日に小学校の体育館で練習をしています。

私たちの踊りが少しでも日豪文化交流に結びつくようにと様々なイベントで踊ります。一緒に踊りたい方、大歓迎！お気軽に練習にご参加ください。

練習日:毎週土曜日2時～3時

場所:Cammeray Public School(Palmer Street, Cammeray)

お問い合わせは、Email:jcs.soran@gmail.com まで。

<http://sydneySORAN.wix.com/dancetroupe>



JCSフラアロハ・ハワイアングループ

JCS Hula Aloha Hawaiian Groupは、明るく楽しく美しく、生き生きと生きるをモットーに踊っています。

楽しく踊って元気になりませんか？

ご興味のある方、先ずはご連絡下さい。

見学歓迎。年齢は問いません。

練習日:毎週火曜日午前11時～12時30分

場所:Dougherty Community Centre, Chatswood

お問い合わせ:e-mail:jcshulaaloha@gmail.com Ayaまで



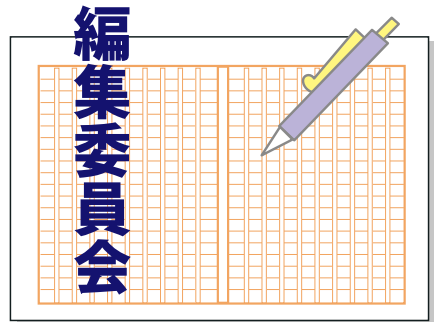
JCSソフトボール部

ソフトボール大会は毎年5月と11月の2回開催しています。2023年秋季大会2位、春季大会3位、2024年秋季大会2位。

JCSソフトボール部では女性選手を急募中です！一緒に優勝目指しませんか？家族で応援に来ませんか？興味のある方は是非、ご連絡ください。

メール:adasada@hotmail.com または、

電話:0402-048-570 (ソフトボール部部长 ^{さだのり} 安達定儀)



編集委員会

シドニー日本クラブの会報誌「JCSだより」を編集しています。会員からの投稿をお待ちしています。

また、誌面作りに興味のある方、一緒に会報誌を作りませんか？

興味のある方は是非、ご連絡ください。

メール:k.murn@jcs.org.au (JCSだより編集長 マーン薫)



教育支援委員会

シドニー日本クラブの日本語学校三校の運営に関する支援を行っています。その他、継承日本語教育についてのセミナー活動なども行っています。

お問い合わせは、以下までお願いします。

メール:jcs@japanclubofsydney.org または、

電話:0421-776-052 (JCS事務局)

3学期も無事に終了

イベントが目白押しだった3学期も皆様のご協力を賜り無事に終わることができました。気が付けば今年も残り1ターム。一年の振り返りと来年への準備をしっかりとおこなえる4学期にしていきたいと思えます。運動会やチャットウッドの日本祭りで堂々としたパフォーマンスを披露した本校ソーラン隊。見学や体験希望者も増え、新規メンバーも練習に加わりはじめました。今後の更なる活躍にも期待が高まります。

クラス紹介 いるか組

いるか組はプリスクールからY1までの子ども達10名が在籍するクラスです。日本語英語共に語彙が増えてきて、先生や友達とお話することが楽しい真っ盛りの子たち



です。授業中も挙手をして発言したり、元気よく歌を歌ったりするなどとても意欲的に取り組んでいます。毎週行っているshow and tellでは「自分のお気に入りの物紹介」や「将来の夢」など様々なテーマに合わせて、みんなの前で話す練習をしています。少しずつ話すことにも慣れ、聞いている子も「可愛いね」「僕も〇〇だよ」と感想を伝えるなど、いい反応をしてくれるようになってきました。4学期にスピーチ発表会を控えているので続けて頑張っていきます。

3学期は主にひらがなの拗音・促音・長音の学習を行いました。例えば「りゅ」の付く言葉をみんなで考え、知っている単語を絵と文字で結びつけます。これらを繰り返して、読むこと、そして書くことに繋がっています。また、語彙を増やすためにしりとりや反対言葉遊びなど、様々な言葉遊びも取り入れながら楽しく学習しています。子ども達は、文化や行事に合わせた製作活動の時間が大好きです。先日、お月見の話をした時には「月には本当にうさぎがいるのかな?」「日本で餅つきをしたことがあるよ」と言って興味を示してくれました。関連する手遊びを友達と一緒にやったり、餅つきに使う「杵」や「臼」など覚えてばかりの言葉を使ってみたり、日本に住んでいなくても日本の文化を身近に感じてくれているようです。

子ども達にとっては授業以外での学びも非常に大きいと思えます。休み時間にはみんなでおやつを食べたり鬼ごっこをしたり、時には実験遊びや虫の観察もしたりして楽しく過ごしています。友達との関わりを通して、日本語の成長だけでなくたくさんの学びを得ています。

これからも成功や失敗を繰り返しながらたくさんのごことを吸収してほしいです。この年頃の子供達は吸収力がすごく、成長が目に見えて分かります。このパワーに応えられるように、担任として週に一度しかない授業をより濃いものにしていきたいです。

(担任: 森下比奈多)

クラス紹介 ねこ組

「おはよう！先生聞いてよ！」と大声で教室に駆け込んでくる、ねこ組は元気なおこさんがいっぱいです。

クラス構成は幼稚園からY2まで、女の



子3人で男の子が6人とクラスのマスコットのぬいぐるみ「ちびねこちゃん」という合計9人プラス一匹の少人数ですが、元気だけはどこにも負けないクラスで、教科書は小一下を使用しています。

一学期の始めは、ほぼ全員が日本語で会話することが難しかったお子様ばかりでしたが、教科書を使用した学習はもちろんの事、マスコットのちびねこちゃんの協力を得て、クラス内のルールを学習しました。二学期にはスピーチ発表会を通じて自分の好きな動物について調べて発表を繰り返しました。何度も何度もスピーチの練習をしていたのでお友達のスピーチを覚えてしまって お互いお友達のスピーチを試してみる事もある、頼もしいクラスです。

また、二学期にはビッグモーニングティーで 大きいお兄さんやお姉さんから 日本をを使ってモーニングティーや雑貨を買い物をするという経験をしました。あまり日本語を使用する必要がない中、日本語での買い物はとても新鮮で楽しかったようです。

三学期には運動会を通して 他のクラスのお友達と協力し合ったり、他のクラスの大きいお兄さんやお姉さんたちと応援の練習をしたりしていくうちに もう日本語のおしゃべりが止まらず、最近では注意されることもしばしばです。日本語で発言ができなかったお子様も積極的に日本語で意見を述べるようになってきて、成長ぶりに感心するばかりです。

早いもので残すところあと一学期になってしまいました。今後は日本の習慣、文化などを通しながらみんなが協力し合って楽しく日本語を学べる機会を作っていくように努力したいと思っております。

(担任: 岡田あき)



JCS日本語学校ダンス校 JCS Japanese School Dundas

学校 Dundas Public School (85 Kissing Point Road, Dundas NSW 2117)

連絡先 PO Box 1072, Dundas, NSW 2117 電話 0411-734-819 授業 毎週土曜日 / 9:30~12:15

Email jcs-jpschdundas@live.com Web <http://dundas.japanclubofsydney.org/index.html>

盛會に終わった運動會



3学期最終日、恒例の運動會が催されました。お天気にも恵まれ快晴の中、たくさんの声援をうけながら、生徒達は一生懸命競技に取り組みました。新しい競技も加わった今年の運動會、紅白のチームに分かれた得点争いは最後まで結果が分からない大接戦となり、最終競技の高学年リレー最終ランナーまで応援にも熱が入りました。結果は僅差で赤組の勝利となりましたが、学校全体の一体感を感じる思い出深い一日となりました。

クラス紹介 たんぽぽ組



今月のクラス紹介はたんぽぽ組です。以下の二つの質問に答えられるところを答えてもらいました。

①運動會はどうでしたか→感じたことを教えてください

②たんぽぽ組の好きなところを教えてください

レイラ:①楽しかったです。特に綱引きが楽しかった！でも最後は勝てると思ったのにまた今年も負けて、悔しくて頭に来てブンブンでした。

れい:①運動會めっちゃ楽しかったです！特にリレーがよかった！

アナベル:①運動會はとても楽しかったです。負けると思ったけど2ポイント差で勝ててすごく嬉しかったです。

もあ:①楽しかったです。赤組が勝ってうれしかったです。②すごくいっぱいものを教えてくれるから好きです。

さくらこ:②仲良しのお友達がたくさんいるところ。ポイントを集めたらお菓子がもらえるところ。

アミリア:②クラスのみなんとたくさんクラフトするのが好きです。

はな:①運動會は楽しかったです。でも、白組が負けたの

で悔しかったです。玉入れが一番楽しかったです。

りく:①運動會は全部楽しかった。②お菓子が買えるのが好き。

りんか:①リレーが楽しかったです。来年こそ白組が勝ちたいです。

きよら:①とっても楽しかったです。特にリレーが楽しかったです。②ビンゴが楽しい。ポイントもらえるところが好き。

のあ:②うどんを作ったり、ビンゴが楽しくて好きです。

らな:①とても楽しい運動會だった。お母さんが司会をしていたのがカッコいいと思いました。②先生！ちょっとり厳しくて、でもすごくクラスが楽しい。

らいしゃ:①リレーと玉入れがとても楽しかったです。パパが綱引きして勝ってカッコよかった。②あつこ先生優しくてたまに面白くて好きです。

ゆな:①リレーがめっちゃ楽しかったです。白組で勝ってみたいです。

クラス担任 行武敦子先生より

今年のたんぽぽ組は、Y3~Y4の男子3名、女子10名、計13名の生徒からなるクラスで構成されています。

授業では、「こくご二年上下」の二冊の教科書を中心に「声に出して読むこと」に力を入れて授業を進めています。一学期は、「一年生の漢字の読み書き」そして、「一年生の漢字音読」の復習を中心に授業を進めてきました。二学期、三学期には、教科書以外にも算数の問題や理科や社会のクイズ問題にも挑戦しました。本当に目まぐるしい授業内容ですが、子ども達は、宿題として導入している「音読カード」にもしっかりと取り組んでいます。

クラス運営に関しては、この「たんぽぽ組」では、「お小遣い制度」を導入し、クラスの決まり事を始め、「誰かの役に立つ事。今、自分にできる事は何か？」を念頭に自ら進んで学習する制度を設けています。「たんぽぽ組」独自のお金を貯める事で、報酬として「ホリデー中の宿題無し」、「お菓子や文房具と交換」、「テスト無し」といった様々な特典を獲得する事ができます。子ども達には、ゲーム感覚でこの特典獲得の「お小遣い稼ぎ」に精を出してもらいつつ、日本語の学習にも精を出してもらっています。

ご家庭でのサポートもしっかりと定着をしており、子ども達の意欲的な学習の取り組みもあって、予定通り授業を進めることができている。

いよいよ最終学期となりましたが、最後の校内発表会に向けて、「たんぽぽ組」一丸となって最後まで駆け抜けていこうと思います。頼もしく、逞しい子ども達と保護者の皆さまに心から感謝です！

(事務 根岸)



単独では初めての第一回運動会大成功！

待ちに待ったエッジクリフ校第一回目の運動会が行われました。これまではクラスの数も生徒の数も少なかったため、シティ校にお邪魔をして合同運動会としての参加でした。来年3学期で(祝)10周年を迎えることもあり、今年からエッジクリフ校も少しずつ成長していかなければと思う運営委員一同。ということで、2024年度は単独で運動会を開催してみることにしました！

初めてのうえに3名しかいない運営委員は、運動会当日の直前まで先生たちやボランティアさんを巻き込みながらバタバタでしたが、小さい学校だからこそある団結力はどの学校にも負けていないと自負します！



開会式では先生方が力を合わせ、お神輿を担いで登場！生徒達は担任の先生のハッピー姿に？素敵なお神輿に？目をキラキラと輝かせながら、笑顔いっぱい登場を見つめていました。

幼児部の生徒たちが頑張って走った、ボール転がし。練習では、「やりたくない！」と言い出す生徒たちが続出したにも関わらず、本番はみんな堂々と元気一杯に校庭を駆け抜けてくれました。小学生の部、スーパーボール渡しでは、紅白各チームが素晴らしいチームワークを見せ、ダンボールで作られた道をスーパーボールがスイスイと渡っていきました。日本の運動会初体験の国際クラスさくら組も定番のお玉リレーで運動会を盛り上げてくれました。



クラス競技も見ていて大変楽しめましたが、なんととい



っても運動会の目玉、紅白玉入れと綱引きは白熱した応援の声と共に大変盛り上がりました。日本語力を試す借り物競走は全クラス、レベル別に行われました。戸惑いを隠せない生徒も多くいましたが、校長先生やお友達のお母さんを連れてゴールに向かって一緒に走る見応えのある競技でした。来年はさらに日本語が上達して、もっと難しい問題を出せるようになるのかな…と密かに思う運営委員でした。



子ども以上に盛り上がった保護者対抗綱引きでは、裸足で勝負に挑む保護者もいるくらい運動会にける思いは最高潮となりました。自分のチームのために綱を一



生懸命引っ張る親たちを見て、子どもたちも元気いっばいに応援してくれて、学校全体が一丸となった様子がひしひしと感じられました。

運動会の翌週の授業で提出された運動会の思い出日記には、運動会での楽しかった思い出がたくさん書かれてきたようです。中でも生徒たちの心に強く残ったのは、全体競技である紅白玉入れと綱引きだったようです。

大成功に終わった第一回目の運動会。日本の運動会を通して、学校と生徒・家族がしっかりと繋がり、一緒に日本の行事を楽しむことができたと思います。来年度もエッジクリフ校のコミュニティが繋がる機会となり、生徒達の心に楽しい思い出を残せる行事にしたいと思いません。



エッジクリフ校初の運動会は白組が優勝しました！来年は赤組の雪辱なるか？乞うご期待です。

スピーチフェスティバルに出場しました！

10月12日(土)に、JCSと豪州繫生語研究会との共催で「第二回スピーチフェスティバル」が、市内の国際交流基金(The Japan Foundation Sydney)事務所にて開催されました。

フェスティバルは、シティ校代表のコステロJCS副会長による開会のことで始まりました。

このスピーチフェスティバルにはシドニーにある日本語補習校から総勢29名の子どもたちが参加し、様々なテーマでスピーチを発表してくれました。JCS日本語学校三校からは合計17名の生徒が出場し、みなさん堂々と素晴らしいスピーチを披露してくれました。参加者の皆さん、素晴らしいスピーチをありがとうございました。



また、シティ校の近藤花さんは、今大会の代表として、韓国で行われるスピーチフェスティバルにもオンラインで参加することになりました！おめでとうございます。

来年もぜひ多くの子どもたちが参加し、スピーチ発表をすることで、日本語力のアップにつなげてもらいたいですね。

なお、当日のプログラムは豪州繫生語研究会のサイトで紹介されています。是非チェックしてみてください。

<https://sites.google.com/view/anjcl-j/nihongo-speech-festival>



子どもたち全員に賞状と参加賞が贈られました



ここが気になる

レールバスはなぜ無料でできる？

電車が点検等のために時々利用できない時に、よく無料のRail Busという代替バスが運行されるのは皆さんご存知のことと思います。



オーストラリアに来て初めてこのバスに乗ったとき、これが無料とは知らずにお金を払おうとしたら(その当時はまだOpalカードもない頃)断られてびっくりしたことを覚えています。勿論、電車より時間もかかるし、いつ来るのかも分からないので不便なところはあるのですが、それでも無料で乗せてくれるとは何と気前のいいサービスなんだろうと感動したことでした。それにしても、突然、多くのバスと運転手が必要になり、それをアレンジするのに経費もかかるものと想像するのですが、それを全く無料で提供できていることが今だに不思議でなりません。





佐藤至子

第122回 残暑・帰り花

東京は、今年も夏が長かった。朝晩ようやく涼しくなったと感じたのは9月24日ごろだった。よく「暑さ寒さも彼岸まで」という。今年は9月22日が彼岸の中日にあたる秋分の日だったので、実際に「暑さは彼岸まで」だったことになる。

いま「夏が長かった」と書いたが、立秋(8月8日ごろ)を過ぎると暦の上では秋で、暑さも「残暑」となる。「残暑」は俳句の季語である。江戸時代の歳時記『増補俳諧歳時記葉草』(原本は1851年刊、岩波文庫『増補俳諧歳時記葉草』参照)では、「残暑」は右に「のこるあつさ」、左に「ざんしよ」と振り仮名があり、説明に「秋暑」とあった。例句として示されているのは「梢まで来てゐる秋のあつさかな 支考」。木々の梢が残暑で生気を失っているのか、あるいは梢が残暑を受け止め、木蔭が残暑をしのぐ場所になっているのか、「梢まで来てゐる」をどう読むかによって、句の景が変わってくるようである。

梢と言えば、10月のある日のことだが、桜の枝に小さな花がいくつか咲いているのを見た。その日は薄日がさして、あたたかい日だった。ああ、これが「帰り花」というものかなと思った。

「帰り花」は冬の季語である。『新歳時記 増訂版』(高浜虚子編、三省堂、1951年)では十一月の季語として立項されており、「小春日和のあたたかさに、季節でないのに花を開くのをいふのである。単に帰り花といへば桜の花のことで、他の花は其名を補ひなどして其感じを出すのである。桜・梨・山吹・つつじ等の時じくの花は、たとひ数は二・三輪であつてもまことに懐しい。」と書かれている。

例句の一つに「日に消えて又現れぬ帰り花 虚子」があった。桜の花は小さい。日がさしてくると、小さい白い花はまぎれてしまっ見えにくくなるが、少し日が陰るとまた見えるようになる。そういう景であろう。

10月になると、晴天でもさすがに堪えがたい気温にはならない。秋晴れのからっとした日差しに、夏の名残りはない。最近、どこからかキンモクセイの香りもただよってくるようになった。短い秋を惜しみながら過ごしたい。

私のドリームホーム ⑮



天井に穴をあけた翌日地元のSESメンバーからその後の様子を電話で問い合わせしてくれました。こんなアフターサービスがあるのかと安心したのですが、今もって連絡をした屋根屋から返信がないことを話し、臨時にでも屋根にターポリン(大きなビニールシート)を掛けるだけでもしてもらえないかと言ったところ、自分達の仕事は木が倒れた、屋根がつぶれた、車が引っくり返った、などの自然災害が中心で残念ながら屋根の水漏れまでは手が回らないということでした。その代わりに誰も教えてくれなかった「保険会社に電話する」の一言で目から鱗が落ちるほどでした。早速、保険会社に電話をすることになりました。それに先駆け雨漏りと停電などのタイム

ラインを書きだしました。

保険会社に電話した翌日。これは本当にオーストラリアなのかと言っては語弊があるけれども、実に迅速に連絡がありました。早速、保険会社から委託されたMake Safe Teamから電話がかかってきました。状況を説明し、緊急処置として屋根からの雨漏りを防いでくれるチームと電気関係のチームが別々に派遣されることになりました。もちろんこれらのトレーズマンからも当日か或いは翌日には連絡が来て予約が取れました。最初に来たトレーズマンは屋根瓦を並べなおしたり新しいものに取り換えたりしてくれ、次のトレーズマンはまだ屋根裏が濡れているので電気は1、2週間後に乾いたところを見計らって電気の元締めブレーカーを上げるように言われました。これで一安心と思いきや、数日後またもや雨が降ってシャンデリアから雨漏りが発生。再び保険会社に電話をしてMake Safe Teamに来てもらい、今回は念願の大きなビニールシートのタープを数枚かけてもらい、小石が入った袋の重しを実に14カ所も置いてくれました。この後、雨漏りをすることはなくなりましたが、保険会社からMake Safe Teamの仕事の確認と調査が入ることになりました。私のドリームホームより今を凌がねば。
(マイホーム)

復活

手抜き の女王



ながら運動のお勧め

毎日の暮らしにちょっとした運動を加えるだけで、筋力低下を防いだり、骨密度の向上につながれば良いですよ！私がよく行っている「ながら運動」は隙間時間に簡単にできるもので、テレビやネットのアドバイスを参考にしたものです。その一部を少しご紹介しますね。

①かかと落とし

爪先で立ってから、ドン！と床にかかとを落とす動作です。効果的に骨密度を増やすためには衝撃が重要なので、力を抜いて全体重がかかるようにしています。歯磨き中に行っています。

②スクワット

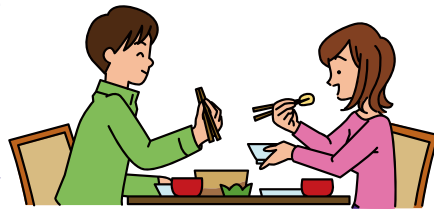
上から見た時に膝がつま先より前に出ないように、お尻を突き出して行るのがポイントです。スクワットは、お尻や太ももだけでなく、腹筋や背筋も鍛えられるため、動作がゆっくりでも運動量があるので、寒い日には体が温まるほどです。お湯を沸かしている間によく行っています。

③Pelvic floor muscle exercise

骨盤底筋を鍛えると出産や加齢などによる尿漏れを予防するという事です。私の知っている方法は5秒かけて筋肉を引き締め、また5秒かけてゆっくりリリースするというものです。運転中の赤信号で止まった時や電気をつけるたびに人知れずやっています。(汗)



外食 日記



SVT Canteen

住所: 1 Temple Road, Helensburgh NSW 2508

電話: (02) 4214-9080

予算: \$15

営業時間: 土・日・祝日 10:00-16:00

雰囲気 9、料理 8、サービス 5



今月はHelensburghにあるインド料理です。ヒन्दウー教寺院に併設された食堂施設です。

10月の連休に訪れたのですが、丁度Brahmotsavamという宗教行事と重なり、寺院も食堂も大変混雑していました。寺院も宗教行事もシドニーにいるとは思えぬ感覚で圧倒されました。寺院では無料の食事が振舞われていたので、少し頂いた後で食堂に向かいました。

まず注文のための長い行列があり、支払いを済ませると番号付きの引換券がもらえるので、別の窓口で番号が呼ばれるのを待ちます。1人で10人分くらいオーダーする方もいて、想像以上に時間がかかりました。

注文したのは、マンゴーラッシーとマサラドーサです。マサラドーサの中身は潰したポテト、オニオン、豆にチリが少し入っていてピリ辛です。生地はクリスピーですが、少ししっとりとして美味しかったです。マンゴーラッシーも濃厚でした。

総領事館からお願い(在留届の提出)

外国に3か月以上滞在する日本人は、最寄りの大使館や総領事館等に「在留届」を提出することが義務付けられています。大規模な災害が発生した場合など、当館では、オーストラリアの関係当局に連絡を取って邦人の被害について確認をする一方、在留届を確認して該当地域にお住まいの方に、直接ご連絡して安否を確認することがあります。在留届は、このような災害時の安否確認にも使用いたしますので、届出内容に変更(住所や同居家族の変更等)が生じた場合には「変更届」を、帰国の際には「帰国届」をご提出いただくようお願いいたします。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/index.html>

ナラボー平原(Nullarbor Plain)

80年代、ワーホリで来豪、現地でオートバイを購入して大陸一周ツーリングをしました。パースからアデレードに行くにはナラボー平原という1200kmの道を通らなければなりません。当時はすでに舗装は行われていましたが、ガソリンスタンドが2か所あるくらいで、町はありませんでした。



My Favorite Photo

自分にとって忘れることのできない写真、いつも飾っている思い出の写真、二度と撮れないシャッターチャンスの写真、大好きな人・有名な人・尊敬する人との記念の一枚…など、My Favorite Photoを文章とともに送ってください。

ナラボー平原に入る最後の街でお金を下ろそうとしたら、銀行もATMもなく、ガソリン代分の現金しか所持していなかったので、ラーメン1袋とミュージリーで3日間ほど過ごした思い出があります。とにかく、「これぞ！オーストラリア！！」って感じで最高の思い出です。

こんにちは、Hiroです！先週までドイツにいて、まだ時差ボケ中です笑

2週間の滞在中一つのブルースジャムセッションに参加してきました。ドルトムントのそばにあるボホムという街で開催されたのですが、歴史あるパブで素晴らしいミュージシャンたちと楽しく演奏できました！

今回はそこで演奏した曲の一つ「Pride and Joy」を紹介します。

この曲はアメリカの有名なギタリスト、Stevie Ray Vaughan(スティービー・レイ・ボーン)の代表曲の一つです。私も今回調べて知ったことですが、1962年に出されたある歌が元になっていて、書き直して1983年にDouble Troubleという彼のバンドとの演奏で、リリースされたアルバム「Texas Flood」に収録されました。

アルバムタイトルにもありますが、SRV(省略ですが、よく使われます!)はテキサス出身で、カントリーやブルー



Hiroの音楽最高！



ス音楽の影響のもとギタリストになった人です。ブルース音楽で使われるシャッフルというリズムに乗って、かっこいいギターのリフと素晴らしいソロ演奏が聴ける素晴らしい曲です。

歌の内容は熱烈なラブソングです！これから本格的に夏に向かいますが、音楽のリズムに合わせて心も身体も調子をあげて乗り越えて行きましょう！！

ワインの話



「ワインの話」では、リーズナブルなプライスでありながら、クオリティの高いオーストラリアのワインを紹介します。

Tempus Two Rose 2022

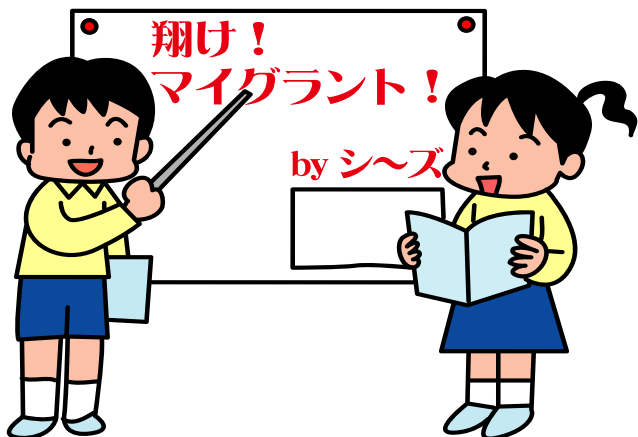
★★★★

Hunter Valleyでも非常にオシャレなワイナリーのTempus Two。その建築デザインとオープンなランドスケープは素晴らしく、レストランも併設している。

1997年から始まったワイナリーはそのボトルやラベルのデザインも秀逸で飾っておきたくなるようなワイン。最近ではNSW州以外の他の地域でもつくられており、カクテルも販売している。

その中でもこのRoseは、SA州でつくられ、ストロベリーやベリーの香りを持ちながらクリスピーで飲みやすい。これからの夏によく冷やして飲みたいお勧めのワイン。





【第41回】

カルチャーデー

今日はカルチャーデー。我が校は現在約20か国以上の国から約250名の生徒で構成されており、それぞれの国を紹介するというイベントです。内訳は70%はチャイニーズ、10%が日本人、その他、韓国、タイ、ベトナム、マレーシア、インドネシア、フィリピン、モンゴル、チベット、インド、アフガニスタン、イラン、ポーランド、ハンガリー、ロシア、ウクライナ、イスラエル、メキシコ、ブラジル、コロンビア、ペルーなどです。各国の地理や歴史をパワーポイントを使ってプレゼンテーションしたり、食べ物やクラフト、踊り、ゲームなどを紹介しました。今回はチャイニーズが2つ、日本、韓国、タイ、ベトナム、インド、イラン、そして数か国共同のユナイテッドネーション、全部で9つの教室を国とみなし、皆それぞれ“パスポート”をもって各国(の教室)を訪問し、入国スタンプをもらおうというプチ海外旅行。皆様々な民族衣装に身をつつま、まるでインターナショナルフェスティバルのようでした。



日本の教室からは、地理的環境、歴史、文化、食べ物

などについて紹介し、そして折り紙のコーナーでは様々な作品を展示して皆に教え、輪投げのコーナーも作って皆で競い合いました。また、日本のポップソングやアニメ、漫画は世界中で人気なので、それらも併せて紹介したりなど、訪問してきた生徒達も楽しく過ごしていたようです。

中国は2つの教室に分けて文化紹介。一つでは他の国と同様に、文化や日常生活の様子をプレゼンテーションし、麻雀も含めた独自のゲームなども紹介。もう一つの教室では、主に芸術のコーナーで、古箏という中国の琴を披露したり、習字を教えたりなどでにぎわっていました。

イランからは、まず歴史や文化などのプレゼンテーションの後、ペルシャ語レッスンを行いました。簡単な挨拶

や日常会話など学んだ後は、生徒一人一人にペルシャ語で名前を書いたカードをプレゼント。アルファベットを使用している国の生徒にとってはペルシャ語の書体は華やかなアート。生徒からも人気でした。

韓国の教室では、韓国伝統のブラウンシュガーを固めたタイゴナというお菓子をその場で作り皆で烙印を付けたりなどして堪能しました。その後は人気のイカゲーム。インドからはヘナのアート。タイ、ベトナム、ユナイテッドネーションからは各国からの文化、食べ物などの紹介など、どの国も独自の文化を生かしたアトラクションで、訪問してきた生徒達を魅了させていました。

午後は生徒達のパフォーマンス発表会。6組のパフォーマー達が、伝統的な踊りや歌、寸劇などを披露するプチ学芸会のようなものです。中国人の伝統舞踊、ブラジル人生徒によるサンバ、アフガニスタンとインドの生徒でバリウッド舞踊、そして最後に日本人生徒によるソーラン節で幕を閉じました。



今回のイベントは、すべて生徒達による企画で、アイデアからプレゼンテーションなど、生徒達が自主的に取り決め準備してきました。普段年齢問わず男子と女子で休み時間を仲良く過ごしているのに、自然にリーダー格となる男子と女子が決まり、皆それぞれの個性に合わせて色々な役割が決まっていたのも頼もしさを感じました。普段教室での授業の時には発言することも無く静かな生徒達もこのイベントで個性を発揮し、生徒達の新たな一面を見受けすることができました。このような機会が子供達を成長させていくと感じた一日でした。



【最終回】 ノーベル賞2024

良い年をと思い迎えた2024年も、年中行事になっているノーベル賞の発表を受けると、残すところ2カ月余りとなり残り少なくなりました。10月7日の生理学・医学賞から始まり、週を跨いでしんがりを務めた経済学賞迄、6分野を対象とした業績と受賞者が滞りなく授与されました。こちらも毎年恒例となっている事前予測では、科学三賞に対し評価の高い日本人名が多数上がり、更に辛抱強く待たされている文学賞受賞への強い期待も合わされ、賑やかに取り沙汰されていました。しかし期待を込めた4日目迄の予測が悉く外れると、今年度の受賞への諦めムードが報道にも感じられ、次回へと気持ちを切り替えた方も多かったと思います。ところが5日目の平和賞を唯一受け持つ、ノルウェー・ノーベル賞委員会からの発表は、それまでの沈滞した感情を一変させるのに十分でした。委員長から受賞者として告げられた名前は、『日本原水爆被害者団体協議会 (Japan Confederation of A-and H-Bomb Sufferers Organization) (以下「被団協」と表記)』でした。

「被団協」が平和賞の受賞に値する評価理由は以下の通りです。

The Noble Peace Prize 2024 was awarded to Nihon Hidankyo "for its efforts to achieve a world free of nuclear weapons and for demonstrating through witness testimony that nuclear weapons must never be used again"

上記 nuclear weapons(原子爆弾)2発が広島と長崎に投下されたのが、1945年8月6日とそれから僅か3日後の9日です。そして日本が降伏し終戦となったのが、それから1週間にも満たない8月15日でした。瞬時に“大量殺戮”を引き起こし、加えて使用後に長期に及ぶ“放射線被曝”の禍根を残す、核兵器の実戦使用を思い止まる想像力が欠如していた製造者及び使用者に怒りを覚えます。それと同等に、被害の惨状を他の国の誰よりも目の当たりにし、核兵器使用の非人道性を肝に銘じているはずの、被曝国の為政者が核兵器廃絶に消極的であることに幻滅します。

前半の科学三賞のうち物理学賞と化学賞の2賞は、共に「Artificial intelligence=人工知能」(以下AIと表記)が評価の基礎となっています。殊に物理学賞に於いては受賞理由が "for foundational discoveries and inventions that enable machine learning with artificial neural network" とされ、そのものずばりneural network=生物の脳神経組織の仕組みを規範にしていることが明記されています。となると気になるのが、AIと本家の知能との今後の進化の行方です。

化学賞では"for computational protein design"及び"for protein structure prediction"と、今後タンパク質の作成及び構造予測も可能になると高く評価しています。当然、両賞合わせた人工知能の広範囲な応用も進み、タンパク質分子の正確な評価及び新規創造も拡大し、我々の能力を凌駕する高い知性へと進化します。そうするとAIが我々の知能を上回るsingularity(特異点)を越える時が訪れます。それから先いかなる世界が広がるのかは、悲観も楽観もせずに将来のlaureatesに託すことにしましょう。

著者より会員の皆様へ
 これまで「科学の話題」を可能な限りタイムリーにと取り組んできましたが、この度一身上の都合により連載の休止を決意致しました。これまでの掲載に感謝し、皆様に心からの感謝を申し上げます。有難う御座いました。

スポーツ天国

No. 181

東アジアラグビーリーグ・ネイションズカップ

10月13日、北海道広尾町で開催されたラグビーリーグ(13人制ラグビー)の国際公式試合「第3回東アジアラグビーリーグ・ネイションズカップ」日本代表SAMURAI'S 対 香港代表THUNDER は、24対14でサムライズが勝利しました！

シドニー日系人ラグビーリーグチーム「ムーンベアーズ」の長谷川選手も参戦しました。



会員の皆さんからの情報も受け付けています。Eメールは、kenerit@gmail.comです。よろしくお願いします。(ぴか)



TOUCH

監督:パルタザール・コルマウクル

出演:エギル・オラフソン、Kōki、パルミ・コルマウクル、本木雅弘、奈良橋陽子、ルース・シーン、中村雅俊 他

公開:2024年(121分)

●作品概要

初期の認知症であることが判明した主人公・クリストファーは、医者から記憶のあるうちにやり残したことに取り組むようアドバイスを受ける。これをうけ、50年前に愛した大切な人が突然姿を消してしまった謎を解き明かすため、新型コロナウイルスの世界的流行で国境が封鎖され始める中、アイスランドを出発し、ロンドン・日本へ…。2020年にアイスランドで発表されベストセラーになったオラフ・オラフソン著「Snerting」が原作。パルタザール・コルマウクル監督が「世界の国々と異なる人種、2つの時間軸と歴史的な出来事をパンデミックの世界に見事に織り込ませている」と映画化。

* * * * *

●繊細で優しい映画というのが見終わった直後の感想でした。ネタバレを避けるため詳しくは記載しませんが、未だ多くの日本人が知ることのなかった悲しい事実が

あり、にもかかわらず悲しさに焦点をあてず、人によっては当たり前であるべきことが主人公に大きな幸せをもたらしていて、心が温かくなりました。キムタク、工藤静香の長女Kokiが出演しています。初々しさを感じる演技。キムタクの顔がチラつくという人がいましたが、同感、七光の悲しい現実です。この映画は、静かに進むストーリーが魅力だと思います。このストーリーに大きな影響を与えている歴史を知ってもらうため、またはとてもよく描写された戦後の日本人のあり方を知ってもらうため、日本人ではない誰かと一緒に観ることをお勧めします。
(おすすめ度:★★★★★ ゆき)

◎「キムタクの娘Kokiが出ていて、いい映画だよ」と友だちから勧められた作品。映像の一つ一つがとてもきれいで、丁寧に登場人物の心理が描写されていて、いい映画だった。静かにストーリーが流れていくが、静かな中にも登場人物の力強い意志が感じられた作品。心が動かされた。アイスランドの映像は特に美しく、将来アイスランドに行ってみたいな~と思ったほど。ロンドンのシーンでは日本のレストランが舞台になっているため、日本語が多く飛び交い、日本料理もいろいろ出てきて、日本人としては見ていてうれしかった。存在感のある引き込まれる目が魅力的なKoki、厳しいオヤジを見事に演じていたモックン(本木雅弘)、味わい深い演技をしていた中村雅俊、など日本人俳優多数が好演していたのもうれしかった。Kokiは演技も悪くないし英語も流ちょうだし、ベッドシーンにも挑戦していて、個人的にはがんばっているなという印象で好感が持てた。

(おすすめ度:★★★★★ ケーエム)

◎13歳から海外で生活している私。日本の芸能界はごくごく表面的にしかわからないが、それでも「キムタクの娘」と聞いて思わず観てしまった。悲しいかな二世タレントの辛さ…。だが、演技力、自然な美しさ、そしてプリティッシュスクールで身につけた流暢な英語力と三拍子揃っているKokiの将来は限りない可能性に満ち溢れているように思える。そんな彼女が「宝物」と表現するこの映画は、繊細で深い深いテーマの作品。主人公、クリストファーが気にかけていた若き日の恋人Mikoを半世紀後に探す、という大きな筋書きに加えて、想像もし得なかった歴史的背景が見えてくる。Kokiもさながら、50年後のMikoを演じる奈良橋陽子も英語が流暢！自然で素敵！と思わずググってしまった(汗)。あのゴダイゴのプロデューサー他、作詞家、演出家、劇作家などマルチタレントの才女らしい。なぜかこの映画を観て「日本の将来も安泰！」(笑)と訳の分からぬ確信を持たせてくれた秀作！

(おすすめ度:★★★★★ かっちゃん)





仏教語からできた 日本語 その219

渡部重信
sydneyhongwanji@gmail.com
浄土真宗本願寺派[西本願寺]
オーストラリア開教事務所長



法律Q&A 弁護士に 聞いてみよう 203

主任弁護士 林由紀夫 (H & H Lawyers)

信(しん)

一般に宗教とは関係のない生活をしている人たちにとって、宗教に関するイメージは、「宗教は怖いものだ。マインドコントロールされ、危ないことを信じ込まされる」と考える学生が多いことに驚かされます。この理解はタリバンの無差別テロ事件や、古いところでオウム真理教の地下鉄サリン事件などの影響が、今日でも根強く残っているように思えます。ということで宗教とは縁のない人たちにとっては「宗教を信じること＝危険なこと」という公式が定着しているようです。

確かにこのように思う人々の危惧も理解できます。歴史を振り返ってみると、信仰の名のもとで数知れない人々が迫害され殺害されてきました。また、現在毎日のように報道されているイスラエルとパレスチナの争いや、過激派グループによるテロ事件等が報道されています。昔から宗教は、民族問題も含め自分たちと違う人々を敵にしたてて排除してゆくための道具として利用されてきたことは否めません。

しかし、そのような信仰は歪曲されたものといわざるをえません。真の信仰は自己の閉鎖性を破り、自己を世界に開放してゆくものでなければなりません。仏教的に言えば、それは私たちをすべての執着から解放し、この世の中で自由に主体的に生きてゆく道を開いてくれるものなのです。

龍樹菩薩の著作とされる『大智度(ちど)論』には「仏法の大海は信を能入となす」という言葉があります。これは仏陀の教えに触れ、それに頷き信じるのが、仏教に入るための必須条件であると説くものです。そしてこのような信こそ、豊かな人生を着実に歩んでゆくために不可欠なものであると述べられているのです。

ただし、一切の執着を否定する仏教では、信も究極的には執着すべきものではないとも説かれています。信仰の対象に固執すれば、却ってそれに束縛され、時には狂信的な状態に陥ってしまうからです。そこで仏教では信を重視しながらも、自分が獲得した信が本当に自己を開放してくれるものなのか、あるいは逆に執着を助長する閉鎖的なものなのかと、常にその「質」を問い続けなければならないことを指摘します。

宗教がテロなどの暴力行為と深く結びついてしまった今日では、各自の信の「質」こそ、重要な課題になると思うことです。

合掌 渡部

Q: シドニーでIT関係の会社を経営しています。提供したサービスに対しクライアントからクレームが来てしまい、多額な損害金を請求されています。確かに当社の提供したサービスに一部問題はありましたが、損害が拡大してしまったのは先方の不注意によることも大きかったと思います。弁護士を入れず先方とまず会って、ざっくりばらんな話をしたいと思うのですが、何か注意する点はありますか？

A: 訴訟に発展する可能性のある争いの場合、ざっくりばらんな話をするにあたって一番注意しなければならないのは、その場で言ったこと(例えば瑕疵があったと認めてしまう)が後の裁判で証拠として使われてしまう可能性があることです。この点オーストラリアにおいては、争いの早期解決を促すため、当事者間で自由に発言できる必要性が法的に認識されています。事前に「Without Prejudice」と明確にしておけば、その席で話したことを後の裁判で証拠として使うことができなくなります。

話し合いを「Without Prejudice」として進めたい場合には：

- ① 事前に書面で参加者全員に「Without Prejudice」の趣旨を説明し、議論内容が将来起こり得る裁判において証拠として使ってはならないことを確認する。会議の冒頭で再度口頭で全員の認識を確認する。
- ② メールや文書のすべてに「Without Prejudice」と記載する。特に、和解や重要な交渉の文書にはこのフレーズを追加する。
- ③ 「Without Prejudice」が適用される内容と適用されない内容を明確にしておくが良い。裁判で証拠として使用したい部分とそうでない部分を明確に区別することで、将来起こり得る裁判に備えておく。
- ④ 会議後にフォローアップのやりとりや記録を作成する場合も、これが「Without Prejudice」であることを再確認し、全員の了承を得る。

ただし、「誤解を招く、欺瞞的または違法性のある内容」や「公共の利益に反する内容」については、たとえ「Without Prejudice」としてもその恩恵を受けられず、それらの文書や発言が証拠として裁判で使用される可能性があります。

また、「Without Prejudice」には、通常「except as to costs(費用は例外とする)」という文言が付け加えられます。こうすることにより、裁判所が勝訴側の裁判費用の負担を敗訴側に命じた場合、「Without Prejudice」で交渉中に発生した勝訴側の弁護士費用なども、敗訴側に負担させることができることになります。

●今月の表紙 Red Kangaroo

撮影の合間、不意に姿を見せたアカカンガルーの子供。大きな瞳でこちらを見つめるその表情には、まだあどけなさが漂っていて可愛いんだけど、足と尻尾の太さはもう立派なもの。厳しい大地を駆ける準備は、とっくに整っているのだなと思えた。アウトバックなどで出会うエミュや、熱帯雨林にいるカソワリーなどもそうである様に、オーストラリアの野生動物は大きく力強い。ウォンバットでさえ、その愛らしい見た目とは裏腹に、手で触れてみると種の強さを感じる。この若いカンガルーもきっと、まだまだ逞しくなる。

Aki/小野一秋 フォトグラファー/CMディレクター/AKIPANオーナー
Website: kazuakiono.com Bakery: akipan.com.au Instagram: aki.akipan



編集後記

▼両親が亡くなり泣いても笑っても姉と2人。シドニーに夫と子供がいても、日本の元の家族は違うように感じる。4人家族だったのが、2人にお互い婆さんとなった今、記憶も悪くなり、足腰も弱り、関節が痛いと言いつつも助け合うようにはしている。きっと両親もそれが望みだったのだろうと協力しているが、それでもたまに喧嘩腰になることはある。でも、そこは姉妹。言いたいことは言うが仲直りの仕方もわかっている。私の息子は一人っ子。私と夫が亡くなったら話せる兄弟もいない。そう思うと可哀想なことをした、と反省するが、兄弟でも仲の悪い場合もあるし…。いずれにしても息子には良い女性と結婚して欲しいな、と願っている。(かっちゃん)

シドニー日本クラブ役員

名誉会長	在シドニー日本国総領事
相談役	Chalker 和子
会長	渡部 重信
副会長	Costello 久恵
副会長	水越 有史郎
理事	阿部 直子
理事	斉藤 なお子
理事	Hodgkinson 恭子
専門理事	林 さゆり(親睦の会会長)
専門理事	Murn 薫(編集委員会編集長)
専門理事	Costello 久恵(シティ校代表)
専門理事	小柳淳子(ダンダス校代表)
専門理事	水越 有史郎(教育支援委員会・エッジクリフ校代表)
事務局	松隈 由紀子(事務局長)・Richter 幸子(会計)
監事	岩佐 いずみ(会計監査)・多田 将祐(会計監査)
クラブ代表	シドニーソーラン踊り隊(渡部 重信)
	JCSフラアロハ(Gault 良子)
	ソフトボール部(安達定儀)
編集委員会	マーン薫(編集長)・渡部重信・水越有史郎
	西牟田佳奈・佐藤 薫・大塚藤子・林由紀夫・多田将祐
	坂口 潤・斉藤なお子・大塚るる・松下友紀

編集から

投稿原稿募集!

会員の方の生の声を募集しています。本誌を読んだ感想や、誌面に対する注文、会に対しての要望、日頃感じていることなど、何でも構いません。皆さんからの率直なご意見や、誌面に対する感想などが、今後の誌面作りに多いに役立ちます。また、絵や写真、詩、俳句、短歌などでも構いません。お気軽にお寄せください。原稿は、趣旨を変えない範囲で手を加える場合があります。文字数は最大1000文字です。投稿原稿は、誌面や内容、時期などの都合により掲載を見合わせる場合がありますので、ご了承ください。

告知板について

「告知板」は会員の方が「売ります」「買います」「教えます」など、個人の広告を掲載するコーナーです。会員の方なら、一回に限り無料で掲載できますので、ご利用下さい。

JCSだより原稿送付先

原稿は毎月15日迄に、マーン薫編集長宛に、またはJCS事務局宛に、Email(k.murn@jcs.org.au)か郵送にてお送りください。

JCS事務局連絡先

本誌やJCSに関するお問い合わせは、Japan Club of Sydney Inc.
PO Box 1690, Chatswood NSW 2057 電話:0421-776-052(9時~18時)
Email:jcs@japanclubofsydney.org(松隈由紀子)まで。

会員特典

JCSの会員の皆さんが受けられる特典です。
ぜひ、ご利用ください。



Japan Club of Sydney

甘利会計事務所

Amari Tax & Accounting
Suite 2, Level 2, 88 Pitt Street, Sydney 2000
Phone: (02) 9223-7448
E-mail: info@taxjp.com.au
新規顧客に特典
JCS会員の皆様のタックス・リターン申請・作成に当たり、料金から15ドルを割引いたします。お支払いの際にこのクーポンをご提示下さい。同時にお二人以上で申請される場合にも、1枚で全員に適用できます。

日本ブレンセンターオーストラリア (NBCA)

Suite 23, 9 Milray Street, Lindfield 2070
Phone: 0404-027-407
Email: yamaguchi@nbca.com.au www.nbca.com.au
担当: 人材 加藤、ビザ・翻訳 山口
ビザ・市民権の申請、オーストラリアの出国許可、移民局に提出する戸籍謄本と書類の英語への翻訳をJCSの会員の皆様には20%割引で承っております。長期短期の人材紹介及び人材登録をきめ細かくお世話させていただいております。皆様のご連絡をお待ちしております。

ほんだらけフル・オブ・ブックス

Level 2, 39 Liverpool Street, Sydney 2000
Phone: 02-9261-5225 Email: hondarake@gmail.com
Website: http://fullofbooks.com.au
シドニー最大の日本古書籍買取・販売店。海外にいても手軽に日本の本・CDなど選べる嬉しい店内在庫8万点をご用意しています。買い取りも随時受付中。
JCS会員の方へは、本・CD・DVDのお買い上げを5%特別割引致します。JCS年会費支払いのコピーをご提示下さい。(セール商品や化粧品など一部除きます、ご了承下さい)

そらまめ

Email: classes@soramame.com.au
www.soramame.com.au
Mobile: 0402-961-907
そらまめは、マクロビオティックのクッキングクラスや個人の献立プラン、コンサルテーションも承ります。JCS会員の方には、クッキングクラスとコンサルテーションの費用から1名様\$10割引をいたしますので、お申込みの際にお知らせください。お申込み、お問合せはウェブサイト、またはEmailでお気軽に♪

本誌広告案内

広告締切は毎月15日です。広告(掲載できるアートワーク)を、メールか郵送で、jcs@japanclubofsydney.orgまたはPO Box 1690, Chatswood NSW 2057まで送付ください。

広告スペース	広告サイズ	料金 (1回のみ)	会員割引料金 (1回のみ)	会員割引料金 (6~11ヵ月)	会員割引料金 (12ヵ月以上)
1ページ	横18cm×縦27.0cm	\$ 220.00	\$ 176.00	\$ 154.00(月額)	\$ 132.00(月額)
1/2ページ	横18cm×縦13.2cm	\$ 132.00	\$ 99.00	\$ 88.00(月額)	\$ 77.00(月額)
1/3ページ	横18cm×縦8.6cm	\$ 99.00	\$ 77.00	\$ 66.00(月額)	\$ 55.00(月額)
1/6ページ	横8.7cm×縦8.6cm	\$ 55.00	\$ 44.00	\$ 38.50(月額)	\$ 33.00(月額)

広告を申し込む際は、上記のサイズ・期間・料金を明記の上、完成された広告(正しい広告サイズで、読みやすく仕上がったアートワーク)を、事務局宛に郵送かメールでお送りください。銀行振込は以下の口座宛にお振り込みください。締切は毎月15日必着です。
※広告内容が本誌に相応しくないと判断した場合、掲載をお断りすることがあります。ご了承ください。
※JCSでは本誌掲載の広告内容に関しては一切責任を負いかねますので、その旨ご了承ください。

会費納入 料金 支払方法

- 会費納入届または広告原稿を小切手と共にJCS事務局まで郵送する場合
小切手の宛名は「Japan Club of Sydney Inc.」をお願いいたします。
郵送先: Japan Club of Sydney, PO BOX 1690, Chatswood, NSW, 2057
- 会費納入届または広告原稿を郵送またはメールで送り、会費を銀行振込する場合
振込時に、登録会員名(フルネーム)と電話番号をDescription/Reference欄に必ず入力して下さい。
お名前がない場合は、支払い元不明で未払い扱いになるためご注意ください。
振込先 Account Name: Japan Club of Sydney Inc. BSB No: 032-002 Account No: 51-3156